

第 53 回インテリア設計士資格検定

<1 級学科試験・論文課題>

少子高齢化時代の今日にあって、幼児育成に対する関心が高まっている。

そこで、「小学校低学年の子供一人を持つ三人家庭におけるインテリア設計のあり方」について、安全、健康、快適性などの観点から、あなたの考え方を述べなさい。

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時 30 分～正午）
2. 記入用紙：配布された指定の論文用紙に記入する。
3. 注意事項
 - (1) 論文用紙に、受験票に記載の協会名(都道府県名のみ)と受験番号を必ず記入してください。
 - (2) 試験監督員の「開始」の合図に従って書き始めてください。
 - (3) 質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、原則として質問にはお答えできません。
 - (4) 試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
 - (5) 「終了」の合図と同時に終了し、論文用紙を監督員の指示に従って提出し、速やかに退室してください。
 - (6) 参考資料、原稿、コピー等の持ち込みはできません。
 - (7) 課題用紙(この用紙)は持って帰ってください。
 - (8) 手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
 - (9) 携帯電話の電源は、必ずお切りください。

第53回インテリア設計士資格検定試験

<1 級 論 文 解 答 例>

<課題> 少子高齢化時代の今日にあって、幼児育成に対する関心が高まっている。
そこで、「小学校低学年の子供一人を持つ三人家庭におけるインテリア設計のあり方」について、安全、健康、快適性などの観点から、あなたの考え方を述べなさい。
文字数は800字以上1,000字以内とする。

1/3

子供が健やかに成長し、両親も子育てに喜びや楽しみを持ちながら安心できる住まいにおいて、インテリア設計は重要な役割を担っていると考える。

小学校低学年の子供の生活の場は、主にリビングやダイニングであると考え、子供の事故防止のために対面キッチンを提案する。対面キッチンであれば、料理をしながらでも子供を見守り対話も可能で安心である。

また、リビングやダイニングはできるだけ広く、かつ、十分な収納スペースを確保し、床に物を置かないようにすることで、遊び場としての安全性を図ることも大切である。

広いリビング、ダイニングは親子のコミュ

100

200

ニケーションや子供の情操教育にも大切であり、また、つまずきによる転倒防止のためには、床の段差にも配慮する必要がある。

300

小学校低学年の子供は、体調を崩しやすい時期のため、健康管理にも配慮が必要で、そのため、自然環境を取り入れる工夫が大切である。具体的には、日あたりが良く、風通しを考えた窓の位置を提案したり、一年の太陽の動きを考慮した庇を採用する。

400

健康で快適な生活を送るために、インテリア材料には自然素材の採用を提案する。人に優しい特性や機能を持ちながら、地球環境への負荷も少ない自然素材は、生育期の子供の健康はもとより、人々が快適な生活を送るためには不可欠である。

500

構造材である柱、土台、梁などには、体に害のある防腐剤、防カビ剤、防虫剤の使用を抑えた国産材を使用する。また、床には天然

600

木のフローリングを選ぶ。冬でも素足で生活
 ができ、小学校低学年の子供が活動するため
 にも安全で快適であると考えられる。

700

天井や壁にも、自然素材からできた木材、
 珪藻土、和紙などの材料を選ぶとよい。これ
 らの材料には調湿効果があり、湿度の高い時
 には空気中の湿気を吸収し、逆に、室内空
 気が乾燥状態にある時には、材料中に蓄えられ
 ていた水分を放散し、湿度を自然に調節して
 くれるため、体に優しく快適な生活が可能と
 なる。

800

国は率先して少子化対策に力を入れている
 が、少子化傾向は進む傾向にあり、一人っ子
 が多い。大切な子供を育て上げるためには健
 康第一である。そのためには、化学物質を避
 け、自然素材中心のインテリアを考える必要
 があると考えられる。

900

1000